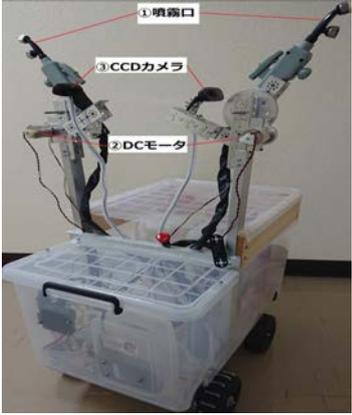


研究室名	<b>蓮田研究室 学会発表</b>
------	-------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、 研究者および技術職員、 ○は発表者、 ※は大学院生、 卒研究生または卒業生

発表時期	2018年12月9日
学会名	第30回日本産業技術教育学会関東支部大会
演題名	ハウス内での健康被害を防ぐ農薬散布ロボットの開発
発表者	蓮田裕一, ○床井俊彦 (情報電子工学科4年), 田山智洋(大学院1年), 荒井裕貴 (情報電子工学科4年)
内容	<p>農薬散布ロボットは、果樹園などの広大な野外で使用するものが既に実用化されており、誘導電線によって無人走行を行い、決められた地点で農薬を散布する。しかし、ビニールハウスは畝間が1m以下の狭い場合が多く、ロボットのダウンサイジングや農薬の供給方法などの問題が未解決である。</p> <p>また、苺等の作物は畝に植えたばかりの時期に害虫が発生しやすい。苺は畝に植える際に株間を30cm開ける必要があるので、畝全体に農薬を散布すると作物の隙間にも散布してしまい無駄が生じる。</p> <p>本研究ではビニールハウス内で農薬散布による健康被害を無くすために、噴霧器と農薬タンクを搭載した農薬散布ロボットの開発を行った。</p>
関連画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>